

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 福岡県北九州市八幡東区東田2-5-7

団体名 株式会社コンピュータサイエンス研究所

代表者 林 秀美

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	かぶしきがいしゃこんぴゅーたさいえんすけんきゅうしょ	
団体名	株式会社コンピュータサイエンス研究所	
(ふりがな)	はやし ひでみ	
代表者氏名	林 秀美	
所在地	市内事業所	北九州市八幡東区 東田2-5-7
	主たる事業所	
事業概要	システム開発委託、アプリケーション開発、データ作成等	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	情報通信業	
従業員数（企業のみ）	6～20人	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://www.computer-science.co.jp/website/	

連絡先

担当部署	本部
担当者	高田 将平
電話番号	093-482-6750
メールアドレス	takata@computer-science.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み
- ・【北九州SDGsクラブ未入会の場合】クラブ参加登録申込書（電子申請可）

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

企業名 株式会社コンピュータサイエンス研究所

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					日々の節電など、組織全体での取組 クールビズ・ウォームビズの推進	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	環境(1)②
								ターゲット	具体的な取組
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					紙、段ボール、缶・瓶・ペットボトル、プラスチック等の3Rを徹底	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	
								ターゲット	具体的な取組
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)					障がい者就労施設等で生産された物品を調達	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール10	
								ターゲット	具体的な取組
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)	技術開発振興助成金					ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール17	
								ターゲット	具体的な取組
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					災害時、非常時にも活躍する製品の開発	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	
								ターゲット	具体的な取組
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					従業員に対して、経営方針・就業規則を周知徹底 在宅勤務、フレックスタイム、ノー残業デーなどによる、柔軟な勤務体制を実施 育児・介護休業法に基づき、就業規則に「子どもの看護休暇」を規定	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール3	社会(3)①
								ターゲット	具体的な取組
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					パート、アルバイト、派遣など雇用の形態を問わず、性別、年齢、障害、疾病、国籍、学歴、宗教、支持政党などを理由に差別せず、人物本位、能力本位の採用を実施 就業規則において、定年制度を撤廃	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール10	
								ターゲット	具体的な取組
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)					パワハラ防止法など、ハラスメントに関する法令を遵守	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール8	社会(3)①
								ターゲット	具体的な取組
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					感染症の拡大を防止するため、テレワークや時差出勤などの対策を実施 従業員に対して、定期的健康診断を実施 社内において、禁煙・分煙を実施	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	
								ターゲット	具体的な取組
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					社内外における研修の受講奨励や、大学院、研究機関への派遣の実施	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール17	
								ターゲット	具体的な取組
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					個人情報保護ガイドラインを策定し、従業員および社外に周知	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	
								ターゲット	具体的な取組
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					SDGs宣言やSDGsへの取組に関する情報を開示	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール12	社会(4)③
								ターゲット	具体的な取組

※CSV(Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和 4年 3月 25日

団体名 株式会社コンピュータサイエンス研究所

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs達成に向けた取組方針等

弊社は、2030年のSDGs達成年に「皆が、とりわけ視覚障害を持つ方が、安心して暮らすことができる社会の実現」を目指しており、その中で弊社がどのような貢献をすることができるのかを考え、社員一丸となってSDGsの取り組みを推進していきます。

◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済		障がい者を積極採用し、その特性や経験が活かせる職場環境を整備	指標 (KPI)	障がい者の採用数	指標
社会	○		目標値		
環境			2030年 (その他の場合) ()年	2021年0人 ↓ 2030年社員の10%	具体的な取組 社会 (1) オ
経済	○	従業員向けにSDGs研修を実施	指標 (KPI)	SDGsに係るセミナー受講者	指標
社会			目標値		経済 (4) ①
環境			2030年 (その他の場合) ()年	2021年0人 ↓ 2030年社員全員	具体的な取組
経済		エネルギー効率向上のための高効率機器への更新や導入	指標 (KPI)	高効率機器への更新や導入率	指標
社会			目標値		環境 (1) ②
環境	○		2030年 (その他の場合) ()年	2021年0% ↓ 2030年50%	具体的な取組

記載について

- 「SDGs達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
（1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません）
- 指標（KPI）は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 (株)コンピュータサイエンス研究所

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています(今後、参加します)。

取組名	具体的な取組内容
12 いのちをつなぐネットワーク事業	<p>地域の支援を必要としている視覚障がい者が社会的に孤立することがないように弊社の視覚障がい者向け歩行支援サービスEyeNaviを通じて見守りを行えないか検討中。例として、アプリが一定期間起動されない場合には登録済みの親族等へ通知が送られるという仕組みを導入する。(EyeNaviは今夏リリース予定のため、令和4年夏以降に取組開始予定。) 「北九州市いのちをつなぐネットワーク推進会議」協力会員には申し込み済み。</p>

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの(今後取り組むもの)を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。